

## 令和6年度指導教諭による「授業力アップ講座」①②

本年度も指導教諭の優れた授業及び解説・講話、実技講習指導等を広く公開し、授業改善、指導力向上等を図る講座を開設しました。今号では、2つの授業力アップ講座を紹介します。

8月28日(水) 奥州市立水沢小学校  
第5学年 外国語:Unit4 He can run fast. She can do Kendama.

授業者 千葉 道子 先生

### 提案授業

「友達ができるかどうかたずねよう。」という本時のゴールのもと、夏休みに児童それぞれが取り組んだ「サマーチャレンジ」をもとに、自分ができるようになったこと(I can～)を紹介したり、友達ができるようになったことについて「Can you～?」を使って尋ねたりする活動が自然な流れで展開された授業でした。

うまく表現できない児童に対しては、言葉を拾い、本時の目指す表現に繋げていました。「話してみたい」という子どもの意欲を引き出すことを何よりも大切にされていました。



### 研究協議

「I can～、You can～、He(She) can～」を扱う本単元の難しさについて意見交換が行われました。文字の扱いについて話題となりました。授業者の千葉先生は「子どもが知りたいときに文字を出すようにしている」とのことでした。

### 👉 千葉先生の授業から学ぶ 外国語の授業のポイント!

- ◆子どもの「話したい」を大切にすること。
- ◆やりとりに繋げるために、会話で「反応」を大切にすること。(繰り返し、質問、Oh! など)

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・千葉先生のように、子どもたちの「学習したい」「もっと話したい」という気持ちを大切にした授業づくりをすることが、言語活動の豊かさにつながると感じた。
- ・授業の後半になるにつれ、どんどん授業が盛り上がっていき様子が見られ、とても楽しい授業でした。
- ・大切にしなければならないのは、子どもの思い(学習の動機付けにつながるもの)、聞くこと、話すこと、音声を大切にした授業展開だと改めて感じました。

8月30日(金) 奥州市立東水沢中学校  
第3学年 理科:生命の連続性「第3章 生命の多様性と進化」

授業者 及川 由美 先生

### 提案授業

「多様な生物はどのようにして進化してきたのだろう。」という課題のもと、生徒が各自で考察したものを、グループの考えとしてまとめ、発表する授業でした。生徒が端末を活用して考察や発表を行ったり、振り返りをスプレッドシートで行ったりするなど、ICTの活用が図られていました。

他者との交流時間もしっかりと確保されており、生徒がじっくりと考えることができる授業づくりがなされていました。

提案授業だけでなく、及川先生が取り組んだ単元内自由進度学習の実践資料が研修者に配付されました。



### 研究協議

ICTの活用について話題となり、考察や振り返り、実験動画などについて積極的にICTを活用している及川先生の実践が紹介されました。また、理科の見方・考え方を豊かにするための授業づくりについて話題となりました。

### 👉 及川先生の授業から学ぶ 理科の授業のポイント!

- ◆「思考力・判断力・表現力」を高めるための時間をしっかりと確保すること。
- ◆「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実のためにICTを積極的に活用すること。

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・個別最適な授業において、生徒自らが興味のあることを選択することで、学習をする必然性を感じながら、主体的に学びに取り組んでいた。
- ・理科の見方・考え方ができるような授業内の工夫をICTを活用して取り組んでいきたい。